

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2690 地区

2014-15 年度ガバナー

松本祐二

「入りて学び、出でて奉仕せよ」(Enter to learn, go forth to serve.)という言葉は 1947-48 年度の RI 会長ケンドリック・ガーンジーの言葉です。様々なご縁があつてあなたもロータリアンになりました。しかし入会してみると「ロータリークラブのメンバーにはなったが、それで満足すべきではなく、真のロータリアンになれ!」というような言葉と接したことがあるはずです。入会したての時に色々と学んだはずの知識に磨きがかかった方もあれば、そのまま埃をかぶっている方もあるでしょう。ロータリーへの様々な取り組み方がある中、クラブの役職は人から人へと引き継がれやがてあなたもクラブのリーダーに、そして会長へと就任されていくでしょうし、既に経験された方も少なくないはずです。

会長エレクト研修セミナーでは次期クラブ会長が、地区研修・協議会では次期クラブのリーダーたちが「入りて学び、出でて奉仕せよ」と研修を受け送り出されました。毎年のように国際ロータリーの会長が変わり、テーマは変わり、ガバナーも変わりクラブの役員も変わっていく、その中で変わっていくべきものと変わってはならないものがロータリーには存在しています。「学び、実践する」ことは真のロータリアンになるためには極めて大切なことです。毎年のように繰り返される勉強の中で「異なるテーマ」と「異なるリーダー」からの学びの中にロータリーの奥義を知り実践することが、真のロータリアンになる、ロータリー活動の本質ではないかと考えます。

2013-14 年度のロン D. パートン RI 会長は「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」(Engage Rotary, Change Lives) というテーマで活動をされました。この活動を引き継ぐことで、本年度のテーマにつながってくると米国・サンディエゴでの国際協議会を通じて感じてきました。

2014-15 年度の RI 会長ゲイリー C.K. ホァン (黄其光) 氏はテーマを「ロータリーに輝きを」(LIGHT UP ROTARY) とされました。「奉仕 (Service) というロウソクを一人一人のロータリアンが灯していけば、世界中で 120 万人を超えるロータリアンが光を灯すことになり、世界を光で輝かせ、ロータリーが輝くのです。ロータリーをどう輝かせるかは、あなた次第です。自分が何を得意としているかはあなた自身が良くご存じのはずです。地元の地域社会が何を必要としているのか、どの様な支援ができるのかはあなた自身に答えがあるはずです」と彼は述べています。

この RI テーマを受けて私は今年度の地区スローガンを「笑顔で SERVICE」としました。あなたの灯すロウソクの光があなたの微笑みと共に地域社会や国際社会への SERVICE となつて欲しいからです。あえてサービスと書かずに英語のままの SERVICE としたことは理由があります。SERVICE という言葉は日本語では「奉仕」というより「忠恕」(ちゅうじょ) という言葉の方が適切という解釈もあるようで、自分の良心に忠実であることと、

他人に対して思いやりの深いこと。忠実で同情心に富む行動です。ロータリーの目的は思索ではなく SERVICE の実践です。このため「入りて学び、出でて奉仕せよ」の言葉が最初に出てきたわけです。

今年度は会員増強を最重点課題とした上で、出席率の向上など多岐にわたる目標を掲げました。大きな「国際ロータリーの活動の方向」と「地域社会の問題点」、「クラブのあり方」そして「あなたとロータリー」についても、学び（考え）、行動することで「ロータリーに輝きを」与えてください。そしてその行動の全てにおいて「笑顔で SERVICE」しましょう。そして、2015-16 年度会長 K.R. “ラビ” ラビンドランにつながる基礎を作りましょう。

2014-15 年度の国際ロータリー第 2690 地区の目標

2014-15 年度の地区の目標の最重点課題はやはり『会員増強』です。

各クラブ 3 % の純増を達成していただき地区内会員数を 3, 3 5 3 名以上にという目標を掲げました。

会員増強に次いで「10 の重点項目」を掲げました。

1. 出席率の向上（年間平均目標 90% です）
2. RI 会長賞の取得（クラブの活性化で達成しましょう）
3. 未来の夢計画推進（次年度の活動につながるアイデアを考えましょう）
4. End Polio Now への参加（「あと少し」のポリオ撲滅を広報して参加しましょう）
各クラブに昨年同様 1,500 米ドルの寄付のお願い
5. ロータリー財団への取り組み
年次基金への寄付 150 米ドル/人
ポール・ハリスフェロー 300 人
ポール・ハリスソサエティへの入会推進 30 人
大口寄付の推進（10,000 米ドル） 5~10 人
ベネファクターの推進 70 人
6. ロータリーカードの活用 1,300 件を達成（ロータリーカードで買い物を！）
7. ロータリーデーの開催と報告（すべてのクラブがクラブホームページへの掲載）
ソーシャルメディア(Facebook twitter YouTube など)への投稿
8. 青少年活動（すべてのクラブがクラブホームページへの掲載）
ソーシャルメディア(Facebook twitter YouTube など)への投稿
9. 米山記念奨学会への取り組み
普通寄付 5,000 円/人
特別寄付 10,000 円/人
米山功労者 200 人以上
10. サンパウロ国際大会への出席

国際ロータリーは今年度で 110 周年を迎える歴史のある SERVICE をする個人の方々の団体です。120 万人を超える会員と 3 万を超えるクラブからなっています。基本的には「一人ひとりの職業人が地域の中でクラブを構成し、自分の職業を通じて地域社会や国際社会に対しての SERVICE をする団体」です。

基本となる各クラブのメンバーが、高潔な職業倫理の元で活動することに関しては、現実の世界とのギャップも存在しています。寛容の精神で親睦を尊び仲良く「笑顔で SERVICE」を心がけていただくことで「ロータリーに輝きを」与えられると思います。

沢山の目標がありますが、一つずつでも、少しずつでも目標に向かって歩みを進めて参りましょう。